

事務事業名		地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	04 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり				所属課	住民課	担当	環境衛生担当	
	施策名	01 自然環境保全の推進				課長名	柿沼 勝廣	担当者名	増淵 邦良	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	地球温暖化対策の推進に関する法律	
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (		年度～	年度)
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要</p> <p>・地球温暖化による影響は世界各地において顕著化しており、その解決が求められています。本事業は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、本町の自然的・社会的特性を踏まえ、温室効果ガス排出の抑制を総合的かつ計画的に進めるための計画を策定する事業。なお、本計画をより実現性の高い計画とするため、平成26年度にグリーンプラン・パートナーシップ事業を活用し、①湧水活用小水力発電によるEV給電用電力自給自足事業 ②農業用水活用小水力発電による地域内電力融通事業 ③省エネ×創エネによるエネルギー自立化事業の実証事業を実施しております。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること)</p> <p>・H28年度 3,000,000円(計画策定業務委託費)</p>								

(1) 事務事業の目的と指標				
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定	➡	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	町民・町内企業・町	➡	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	温室効果ガスの排出を抑制し、自然環境を保護する。	➡	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
			名称	単位
			ア 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)	式
			イ 町民	人
			ア 自然環境が守られていると感じている町民の割合	%

(2) 指標・総事業費の推移								
		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	0	1	1	1	1	1
	イ	実績値	0					
対象指標	ア	目標値	12,820	12,750	12,680	12,620	12,560	12,500
	イ	実績値	0					
成果指標	ア	目標値	90	90	90	90	90	90
	イ	実績値	0					

計画		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	事業費	千円					
	財源内訳	千円					
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
事業費計(A)	千円	0	3,000	0	0	0	0

実績		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	事業費	千円					
	財源内訳	千円					
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	温室効果ガス排出量は民生部門(家庭・業務)や運輸部門が増加傾向にあり、それらの排出主体である家庭や学校、地域といった存在に近い立場にいる地方自治体、特に基礎自治体は、地球温暖化対策においてその果たすべき役割が重要となっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならぬのか？先延ばしにできない理由は何か？	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定するにあたり、より実現性の高い官民連携で進める施策を位置付け、確実な温室効果ガスの削減を実現するために、平成26年度にその実証事業を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	業務委託の費用のみである。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町内の温室効果ガスを対象としている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 27 年 11 月 27 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・財政状況から平成28年度の実施は見送り、平成29年度の実施を検討すること	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項  <input type="checkbox"/> 再評価対象事業